

ちとせ会 ニュースレター

～山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会～

はじめに

ちとせ会では、会員相互の情報交流を促進するために、ニュースレターを発刊しております。この第10号では、昨年催された第11回総会、ならびにそれに先立つ特別講演の模様をお伝えいたします。今回も、昨年に引き続き、卒業生有志による施設紹介を取り入れ、開催しました。

第11回山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会「ちとせ会」総会 (平成27年10月17日開催)

1. 特別講演 横井 香代子 先生「 脳の不思議に魅せられて 」

「認知症の診かた ～脳の機能障害という視点から～」というテーマで認知症についてのご講演をしていただきました。脳機能の視点から認知症の症状や特徴、それに対するADLに対する支援方法を神経心理学的な視点を交えながら、分かりやすく解説していただきました。脳の機能から認知症を考えると、症状も捉えやすく支援もしやすくなると感じました。今後は65歳以上の4人に1人が認知症予備軍となり、必然的に私たちも認知症の方と接する機会も増えてくると思います。今回の講演の内容を活かして適切な対応をしていきたいと思っております。

2. 卒業生有志により施設紹介

今回は「元気はつらつ」と題して石沢 敦正 先生より社会医療法人 公徳会 若宮病院の施設紹介をしていただきました。若宮病院、精神科デイケア、認知症デイケアなどの施設紹介や、精神科領域における作業療法士の役割・考え方などを交えながら紹介していただきました。

3. 総会

総会での審議結果

- 2015年度会計報告、ならびに2016年度予算案が承認された。
- 事業計画として、今後も定期的に総会を開いていくことが提案され、承認された。

4. 懇親会

例年同様、会食をしながら学生時代の思い出話をし、より交流が深まりました。

参加者感想

第11回同窓会に参加した同窓生に書いていただいた感想文の一部を紹介します。

- 脳機能から認知症を診たことは無かったので、今回の講演会では認知症の症状を捉える点で大いに参考になった。今後の臨床に活かしていきたい。
- 横井先生の美的感覚が同われるような、すごく美しい脳や神経の画像を見せていただき、素直に感動しました。また、錯視誘発図形をオリジナルに作成されたプロセスや苦労話をお聞きし、研究の奥深さと面白さに引き込まれました。
- 精神科の患者様の支援について学ぶことができ、普段関わりのない領域の話が参考になった。



編集後記

昨年も、横井先生の特別講演に加え、卒業生有志による施設紹介などがあり、日々の臨床に役立つ内容が盛りだくさんとなりました。次回同窓会も、出来るだけ多くの方に参加していただきたいと思います。また、同窓会の企画内容など何か希望があれば、ぜひ同窓会役員に声をかけていただければと思います。